2022 年 11 月 13 日

ジャフコ グループ株式会社
代表取締役社長　三好啓介 様

株式会社シティインデックスイレブンス
代表取締役　福島　啓修

拝啓　時下ますますご清栄のことお慶び申し上げます。

11 月 11 日に貴社と面談をさせていただき、貴社ご提案の予告公開買付けについて応募契約を締結することを検討する旨お伝えいたしました。しかしながら、弊社内で弁護士も含めて慎重に検討した結果、貴社ご提案の予告公開買付けでは応募契約を締結することは難しいとの結論に達しました。

やはり、弊社としては、貴社において、400 億円の予告公開買付けによる自己株式取得の公表の前に、野村総研株式の売却について公表していただきたいと考えます。三好様はすべての株主価値向上策（野村総研株式の売却、400 億円の自己株式取得の公開買付け、1200 億円への純資産圧縮、売却後の現預金は 600 億円程度、ファンド出資比率を 20%まで減少させること）をパッケージで公表されることにこだわっていらっしゃるようですが、それに伴い、弊社は 2500 円から 2800 円のレンジという不確定要素の高い株式売却を強いられることになります。また、そもそも貴社による自己株式取得の公開買付けについては、弊社が応募を望んだのではなく、貴社の要請に弊社が応じることを検討しているのですから、弊社による貴社株式の売却については、弊社の意向を十分踏まえていただきたいと考えております。

貴社の多くの株主は、貴社が保有している野村総研株式は不必要な資産であると認識しており、その売却を望んでいるはずです。したがって、貴社において、まず、野村総研株式の売却と、その売却によって得られる資金の多くを株主還元に充てる予定である旨を公表していただき、それが株価に織り込まれた段階で、自己株式取得の公開買付けを固定価格で公表されるのがよいと考えます。その前提であれば、弊社としても、その固定価格が合理的なもの（PBR 1 倍に近い価格）であれば、応募契約の締結について前向きに検討いたします。貴社において上記方針に同意いただけるのであれば、秘密保持契約の有効期間について、一連のプロセスを実現するための合理的期間まで延長することに同意いたします。

以上について貴社のご意見を 11 月 14 日にお聞かせいただきたく、よろしくお願い申し上げます。

敬具